

Ⅲ 倉吉市の教育理念・教育目標

【教育理念】

豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり

国際化、情報化の進展により、私たちの生活は大きく変貌し、倉吉に居ながらにして世界とつながる状況となっています。また、経済成長により一定の物質的な豊かさを手に入れました。しかし一方で、少子高齢化や過疎化の進行等に伴う地域社会での人間関係の希薄化や、地域社会そのものの維持が課題となっています。さらに倉吉にあっても豊かな自然や歴史・文化に恵まれていることに気づかないことが指摘されています。また近年の経済的に厳しい状況において、所得格差による子どもたちへの影響が懸念されます。

こうした現状を踏まえ、今後の倉吉市教育の在り方について、市民と意見を交換し検討した結果、教育理念と五項目の教育目標を次のように考えます。

豊かさとは、物質的な豊かさだけではなく、私たちの周りにある自然や歴史・文化、そして生活の中で豊かさを感じるという精神的なものもあると考えます。倉吉の大地に根ざし、さまざまなものを生産し創造すること、また、そのことで得られる充実感や満足感、それらも豊かさと考えます。

豊かな心とは、美しいものに対して美しいと感じる心、優しさや思いやりなど人権感覚を大切にし、人とのつながりの中に豊かさを感じる心だと考えます。そして、快適に働き・学び・遊び・憩うことができること、安心して暮らせることに喜びを感じる心だと思います。それは、まちに誇りと愛着を持つことにつながります。

その豊かさの上に、一人一人の持っているかけがえのないその人のよさ、その人らしさを磨き、発揮できる人づくりが求められています。倉吉市民の中には、学問・スポーツ・文化・芸術・伝統芸能などで力を発揮し、それらに取り組むことを生きがいの一つとしている人もたくさんいます。自分の生きがいでなく、その力を地域に役立て、しっかりと貢献している人も多くいます。こうした何らかのことで、自己実現を図りつつ、それぞれの個性を発揮して、社会に貢献できる人づくりこそ、これからの倉吉市民の在り方です。そして、鳥取県民であること、日本国民であることをしっかりと自覚し、世界にはばたき、広く交流する人でありたいものです。

倉吉市の自然・風土・歴史・文化の恩恵に浴して、豊かで健やかな心身を育み、一人一人の個性や能力を発揮し、地域に誇りと愛着を持ち、幅広く交流し、倉吉の発展に寄与する人づくりをめざし、「**豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり**」を倉吉市の教育理念と定めます。